

バス利用促進方策について

■本資料の全体構成

本資料では、以下の項目についてとりまとめる。

1 実態調査内容について

バス利用者の意向を把握するためにおこなった、バス利用者意識調査の内容と結果を整理する。また、別途平成19年度に行われた市民アンケート調査の結果から、非バス利用者のバスに対する意識を抽出・整理する。

1.1 箕面市におけるバス利用促進の考え方

1.2 バス利用者意識調査の実施

1.3 バス利用者意識調査の結果

1.4 非バス利用者の意識の把握

1.5 市民アンケート調査等

1.6 まとめ(課題抽出)

2 バス利用促進方策について

1でとりまとめた結果から、箕面市において短期的に実施して効果の期待できるバス利用促進方策を検討する。

1. 実態調査内容について

1.1 箕面市におけるバス利用促進の考え方

箕面市においては、特に鉄道駅端末交通としてのバスの役割が大きく、サービスレベルも高い。北大阪急行線が延伸された後も、バスは重要な役割を果たすと考えられるが、市民満足度は低い状況にある。よって、公共交通の利用促進に向けては、バスの利便性向上による利用促進が重要な検討課題となる。

本検討においては、箕面市における課題・問題点の所在を明らかにすることを目的に、バスサービスやバスネットワークに対する利用者や市民の意識の把握を行うための意識調査を実施する。また、箕面市において実施した各種市民アンケート調査も活用する。

【バス利用に関する実態調査】

調査	目的・概要
バス利用者意識調査	バスの利用者に対して、問題点と改善要望等を聞く。
簡易 TFP	粟生団地、桜ヶ丘地区の住民に対して、モビリティ・マネジメントと並行してバスに関する問題点・改善要望等を聞く。(事後調査)

1.2 バス利用者意識調査の実施

本業務では、箕面市における課題・問題点の所在を明らかにすることを目的に、バスサービスやバスネットワークに対する利用者や市民の意識の把握を行うための意識調査を以下の内容で実施した。

項目	内容
対象者	千里中央、北千里、阪急石橋の主に通勤・通学・買い物利用者の帰宅時を想定
配布票数・回収票数	合計 1000 票配布 357 票回収
配布方法	バスターミナルで箕面市方面のバス待ち客にアンケートハガキを配布
回収方法	アンケート用紙をハガキとして郵便ポストに投函してもらう
実施日	平成 20 年 10 月 7 日 (火) 13:00~20:00 ※当初 10 月 1 日 (水) 予定→雨のため順延

アンケート項目	<p>⇒資料 9、10</p> <ul style="list-style-type: none">● 回答者の属性（性別、年代）● 公共交通利用の主な目的（通勤か通学か、その他か）● 利用頻度● 乗降バス停● バスの問題点、改善して欲しい点● 循環バスに対する利用期待度● バス停駐輪場に対する期待
---------	--

■ 配布場所

- 千里中央・・・4～7、11、12番のりば



- 北千里・・・4～6番のりば



阪急石橋・・・3番のりば



配布票数について

- 以下のような振り分けで配布をおこなった。
- 千里中央（600票）

	4～7番 のりば	(バス本数)	11番の りば	(バス本数)	12番の りば	(バス本数)
13時台	30票	15本	10票	5本	10票	3本
14時台	35	15	10	5	10	3
15時台	40	16	10	5	10	3
16時台	40	16	15	6	10	4
17時台	75	26	35	11	10	4
18時台	75	24	35	8	15	5
19時台	75	21	35	9	15	5
合計	370票		150票		80票	
千里中央合計	600票					

- 北千里（300票）

	4～6 番 のりば	(バス本数)
13 時台	25 票	11 本
14 時台	25	11
15 時台	25	11
16 時台	30	12
17 時台	65	16
18 時台	65	16
19 時台	65	18
合計	300 票	

- 阪急石橋（100票）

	3 番 のりば	(バス本数)
13 時台	10 票	4 本
14 時台	10	4
15 時台	10	4
16 時台	15	4
17 時台	15	4
18 時台	20	4
19 時台	20	4
合計	100 票	

調査状況写真（千里中央）

千里中央4～7番乗場



千里中央4番乗場



千里中央5番乗場



千里中央7番乗場



調査状況写真01



調査状況写真02



調査状況写真03

千里中央11番乗場



千里中央11番乗場



調査状況写真01

千里中央12番乗場



千里中央12番乗場



調査状況写真01

調査状況写真（北千里）

北千里4～6番乗場



北千里4番乗場



北千里5番乗場



北千里6番乗場



調査状況写真01



調査状況写真02

調査状況写真（阪急石橋）

石橋3番乗場



石橋3番乗場



調査状況写真01



調査状況写真02

<div style="text-align: center;"> <p>郵便はがき</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">5 6 2 8 7 9 1 0</div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">大阪府箕面市西小路4丁目6番1号</p> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">箕面市役所都市計画部 交通政策課 行</p> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">箕面市における公共交通の活性化を検討するため、是非ともご協力のほど、よろしくお願ひいたします。</p> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">近畿運輸局・箕面市</p>	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <h3>バス利用者意識調査 への協力のお願ひ</h3> </div> <p>箕面市内の公共交通としてのバス路線は、千里中央方面へのバスサービスレベルは高い状況にありますが、市民満足度アンケート調査結果においては、「バス路線網の整備」に関する市民満足度は低い状況にあります。</p> <p>そこで、市民が不満に思うバスサービスの問題点を改善し、利便性を向上させ、より多くの市民のみならず、市民満足度を向上させるため、本意識調査を実施するものです。</p> <p>なお、調査結果については、今後、取り組むべき施策の検討に活用するため、回答頂いた情報等については、統計的に処理した後廃棄し、個人に迷惑をかけるようなことは一切ございません。</p> <p>つきましては、誠に恐縮ですが、本調査の主旨をご理解のうえ、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <p>近畿運輸局 大阪運輸支局 箕面市 都市計画部 交通政策課</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ご質問等は、下記までお問い合わせください。</p> <p style="text-align: center;">箕面市役所都市計画部交通政策課 tel : 072-723-2121 (内線3426) e-mail : koutuu@maple.city.minoh.lg.jp</p> </div>															
<h2 style="margin: 0;">バスをご利用の方の行動・意識調査</h2>																
<p>問1 あなた自身についてお尋ねします。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">性別</td> <td style="width: 15%;"><input type="checkbox"/> 男性</td> <td style="width: 15%;">年齢</td> <td style="width: 15%;"><input type="checkbox"/> 10代</td> <td style="width: 15%;"><input type="checkbox"/> 30代</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="checkbox"/> 女性</td> <td></td> <td><input type="checkbox"/> 20代</td> <td><input type="checkbox"/> 40代</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td><input type="checkbox"/> 50代</td> <td><input type="checkbox"/> 60代以上</td> </tr> </table>		性別	<input type="checkbox"/> 男性	年齢	<input type="checkbox"/> 10代	<input type="checkbox"/> 30代		<input type="checkbox"/> 女性		<input type="checkbox"/> 20代	<input type="checkbox"/> 40代				<input type="checkbox"/> 50代	<input type="checkbox"/> 60代以上
性別	<input type="checkbox"/> 男性	年齢	<input type="checkbox"/> 10代	<input type="checkbox"/> 30代												
	<input type="checkbox"/> 女性		<input type="checkbox"/> 20代	<input type="checkbox"/> 40代												
			<input type="checkbox"/> 50代	<input type="checkbox"/> 60代以上												
<p>引き続き裏面の質問にお答えください。</p>																

<h2 style="text-align: center;">バスをご利用の方の行動・意識調査</h2> <p style="text-align: center;">普段のバス利用に関してお答えください。</p>	
<p>●問1～問6にご回答いただいた上で、ハガキ部分を切り取って郵便ポストに投函してください。</p> <p>●平成20年10月14日ごろまでに投函していただければ幸いです。</p> <p>●よろしくお願ひします。</p>	<p>問2 あなたは、バスをどんな目的でどれくらい利用していますか？</p> <p>■目的の例 A. 通勤 B. 通学 C. 買い物 D. 通院 E. 送迎 F. その他</p> <p>問3 主にどの区間を利用していますか？</p> <p>問4 バスの問題点や、改善してほしい点はどのようなことですか？ (複数選択可)</p> <p>問5 箕面市内の各所を回る循環バスがあれば利用したいと思いませんか？</p> <p>問6 最寄のバス停に駐輪場があったら利用したいと思いませんか？</p>
<p>問2の答え 目的 【例】 A. のために(月に・週に) 5 回程 江坂 に行く _____ のために(月に・週に) _____ 回程 _____ に行く _____ のために(月に・週に) _____ 回程 _____ に行く _____ のために(月に・週に) _____ 回程 _____ に行く</p> <p>〔地名・駅名等場所が分かる表現で、お書きください〕</p>	
<p>問3の答え (自宅の最寄のバス停) _____ ~ _____</p>	
<p>問4の答え <input type="checkbox"/> 料金を値下げしてほしい <input type="checkbox"/> 便数を増やしてほしい <input type="checkbox"/> よく遅れるので改善してほしい <input type="checkbox"/> 路線を新設または充実してほしい <input type="checkbox"/> 鉄道～バス、バス～バスの乗り継ぎを改善してほしい <input type="checkbox"/> 乗り継ぎの際、割引料金にしてほしい <input type="checkbox"/> バス停の場所、乗るべき系統がわかりにくい <input type="checkbox"/> 利用したい時間帯に走っていない <input type="checkbox"/> バス路線図がわかりにくい <input type="checkbox"/> バス停に雨よけ・ベンチが欲しい <input type="checkbox"/> バリアフリー対応車両を増やしてほしい <input type="checkbox"/> その他 _____</p>	
<p>問5の答え <input type="checkbox"/> 思う <input type="checkbox"/> 思わない <input type="checkbox"/> その他 _____</p>	
<p>問6の答え <input type="checkbox"/> 思う <input type="checkbox"/> 思わない <input type="checkbox"/> その他 _____</p>	
<p style="text-align: center;">アンケートにご協力いただきましてまことにありがとうございました。</p>	

1.3 バス利用者意識調査結果

■集計項目

(1) 回答率

(2) 回答者の属性

- 1) 性別
- 2) 年齢構成

(3) バス利用者の利用実態

- 1) バス利用時の移動目的
- 2) バスの利用頻度
- 3) 主な利用区間

(4) バス利用者の意識

- 1) 現状のバスに対する要望
- 2) 市内を循環するバス路線に関する意識
- 3) 自転車駐輪場の整備に関する意識

(1) 回答率

配布総数 1,000 人（千里中央：600 人、北千里：300 人、阪急石橋：100 人）のうち、回答があったのは 359 人で、回答率は 35.9%（千里中央：38.2%、北千里：35.3%、阪急石橋：24.0%）である。

生活に身近なテーマであったこと等から、郵送回収方法で想定される回答率（20%前後）より大きくなった。

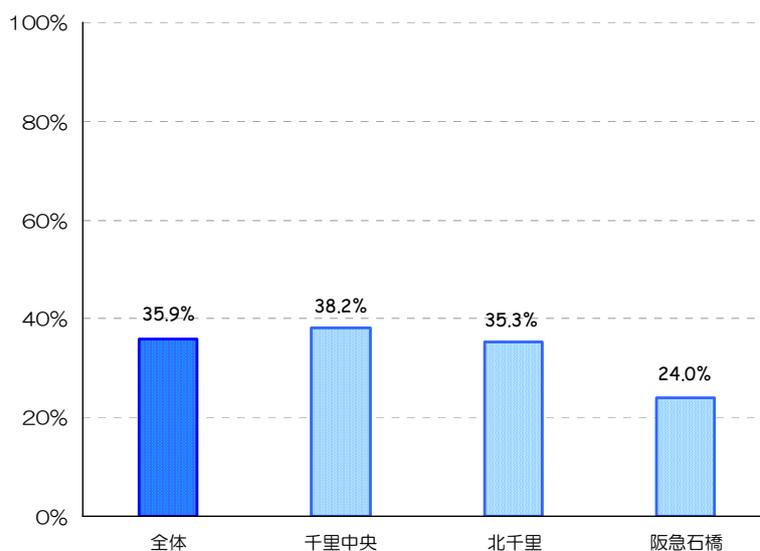


図 回答率（配布場所毎）

(2) 回答者の属性

1) 性別

回答者全体では、女性の割合（59.9%）が男性の割合（31.2%）の約2倍である。

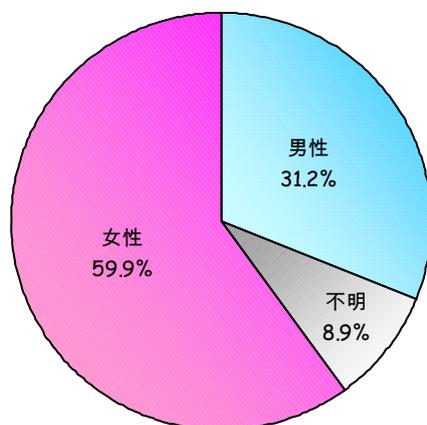


図 回答者の性別

2) 年齢構成

回答者全体では、60代以上の方が3人に1人の割合（33.4%）を占めている。

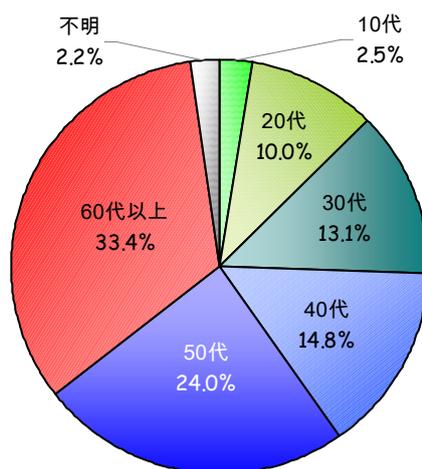


図 回答者の年齢構成

(3) バス利用者の利用実態

1) バス利用時の移動目的

全ての配布箇所において通勤目的の利用割合が最も多く、特に阪急石橋では通学目的を含めると定期的な移動目的が6割以上（63.6%）となっている。

自由な移動目的のうち、買物目的に絞って見てみると、千里中央は 25.0%で他の2箇所と比べて高く（北千里：20.8%、阪急石橋：18.2%）、千里中央駅周辺や大阪市内方面への需要が高いことが考えられる。

また、通院目的に絞って見てみると、北千里は 8.8%で他の2箇所と比べて高く（千里中央：6.2%、阪急石橋：3.0%）、北千里駅近傍の医療機関への需要が高いことが考えられる。

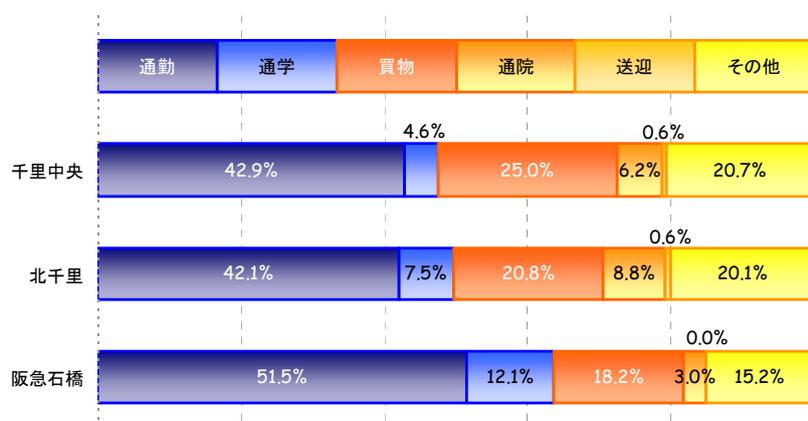


図 バス利用時の移動目的（複数回答含む）

2) バスの利用頻度

回答者全体では、月に21～25回（週に約5回）利用する人の割合が最も多く（42.3%）、回答者の多くは日常的にバスを利用していることが考えられる。平均利用回数は、月に約15.4回（週に約3回）である。



図 バスの利用頻度（目的：全目的 月あたり）

このうち、買物目的の利用では、月に1～5回（週に約1回）利用する人の割合が66.0%で最も多い。

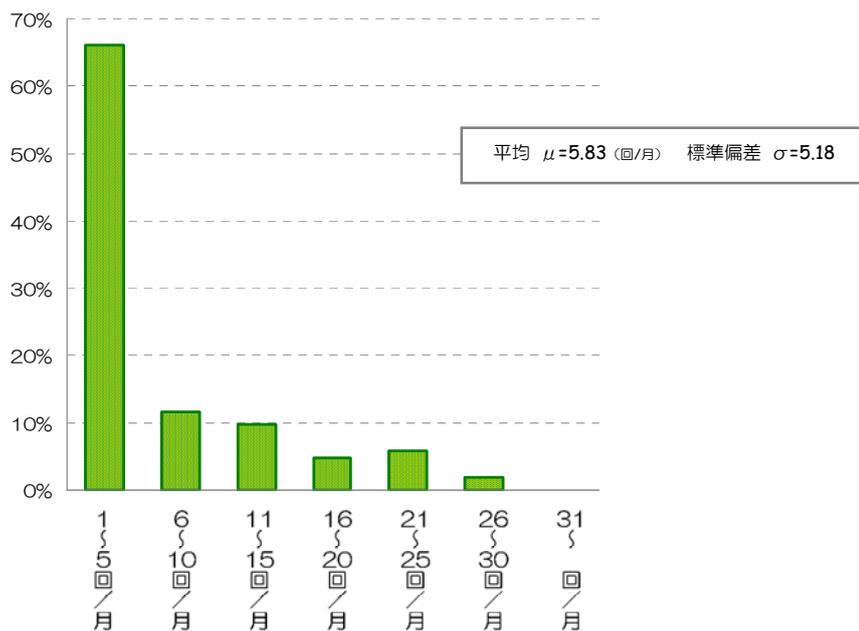


図 バスの利用頻度（目的：買物 月あたり）

3) 主な利用区間

① 千里中央発着

千里中央の利用者は、市内の全域に広がっている。

このうち、利用者の割合が多い地域（路線によるゾーン分けに基づく）は、市中部の山麓線沿い、市中部の国道171号線沿い、市東部の山麓線沿い、市東部の小野原豊中線沿いである。

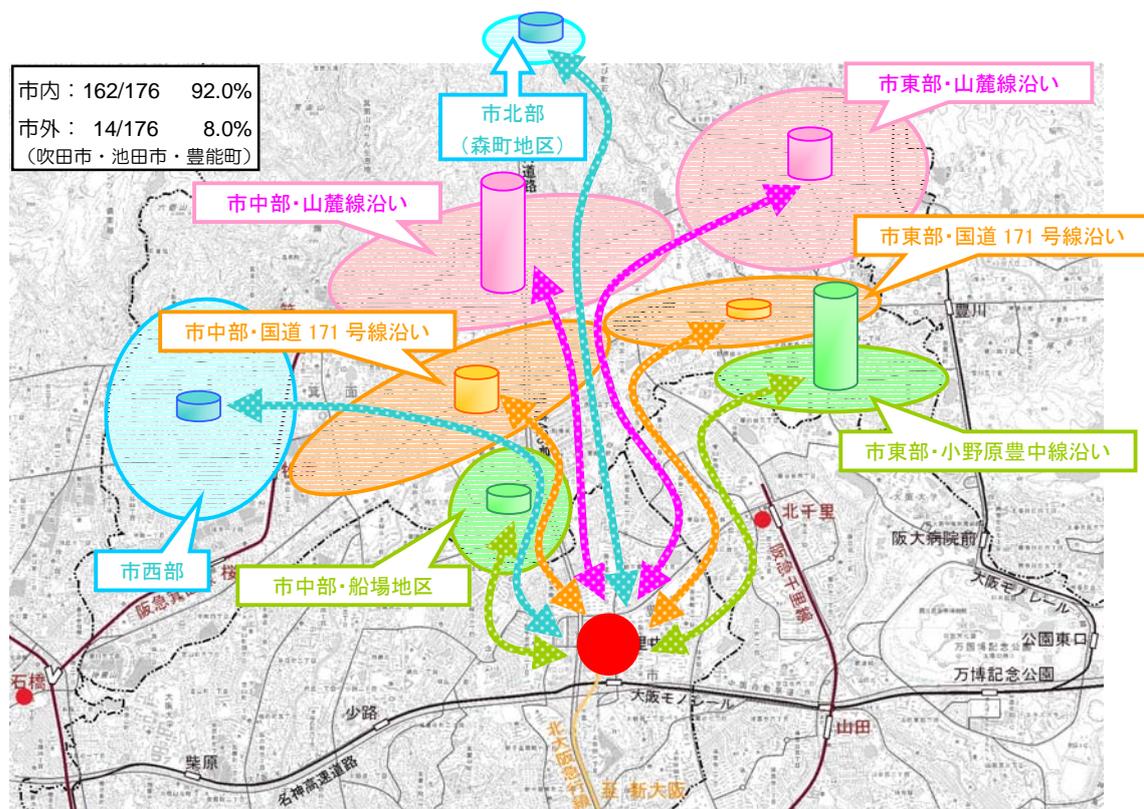


図 バス利用者の地域分布（千里中央発着）

② 北千里配布

北千里の利用者は、市の東部に集中している。

利用者の割合には、大差がない。

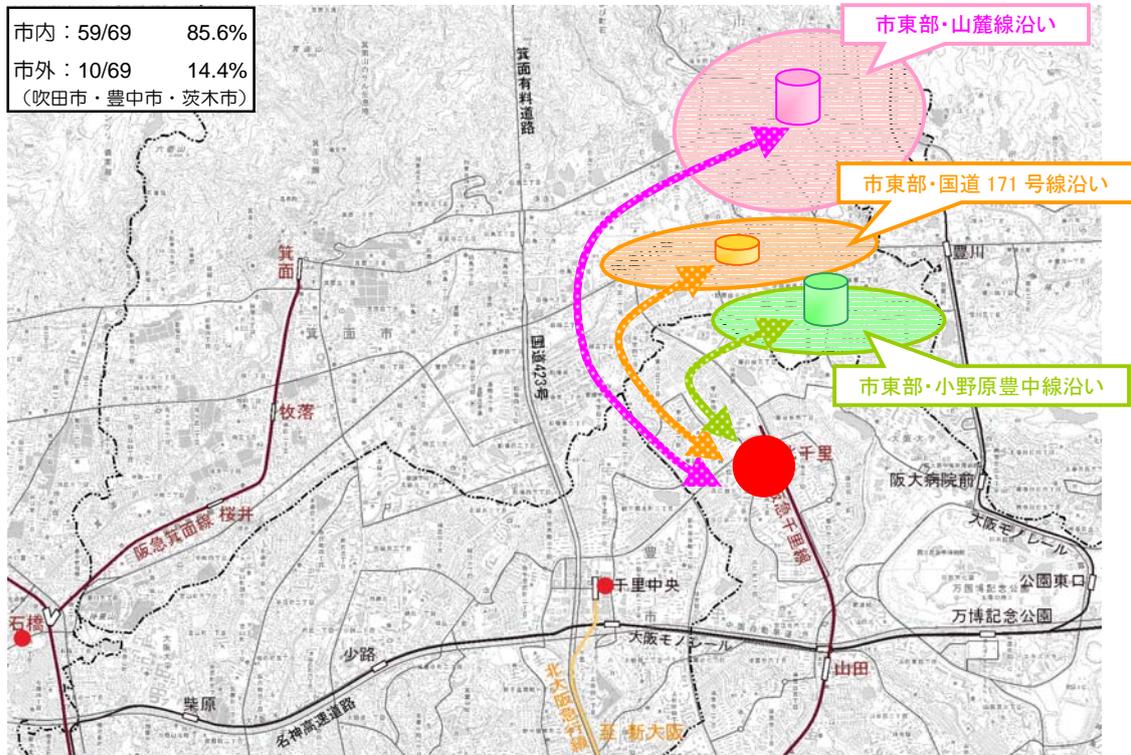


図 バス利用者の地域分布（北千里発着）

③ 阪急石橋配布

阪急石橋の利用者は、国道 171 号線沿いに集中している。

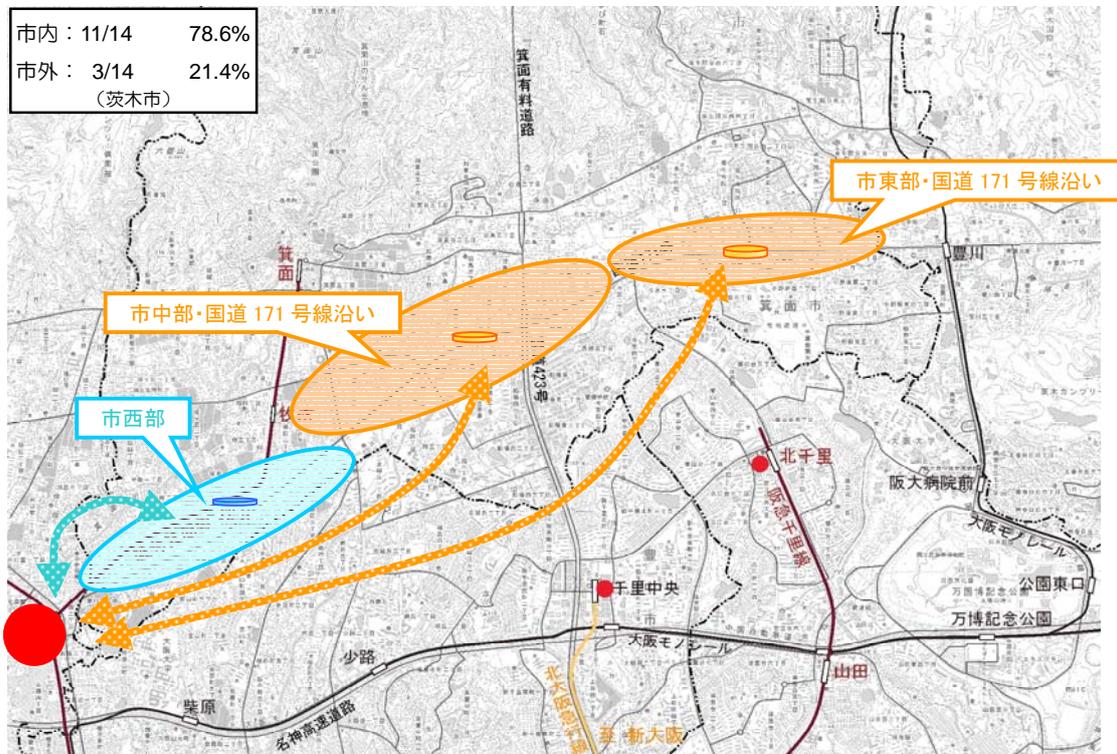


図 バス利用者の地域分布（阪急石橋発着）

(4) バス利用者の意識

1) 現状のバスに関する要望

箕面市内の停留所を出発地とする回答者全体のうち、「増発・増便」を望むものが 58.7% と最も多く、「停留所施設の改善」(28.0%)、「運賃の値下げ」(23.5%)、「路線の新設・充実」(22.5%) を挙げる意見が多い。

このうち、「増発・増便」、「路線の新設・充実」、「運行時間帯の改善」(15.7%) を含めた運行サービスに関するものを挙げた人の割合は 66.9% である。

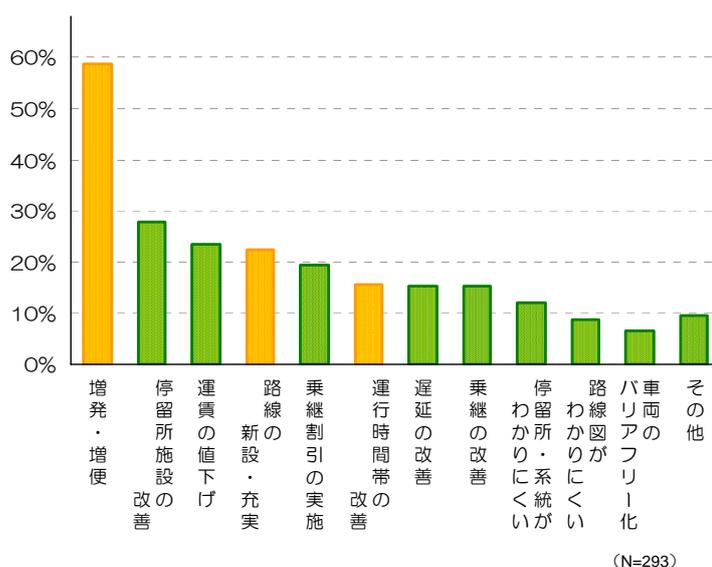


図 現状のバスに関する要望

「増発・増便」を要望すると回答した人について、自宅の最寄り停留所（地域）を見たところ、市中部の国道171号線沿いや市西部（箕面中央線など）、市北部（箕面森町線）、小野原豊中線沿い（乗生団地線の千里国際学園方面、小野原東線）で割合が高い。

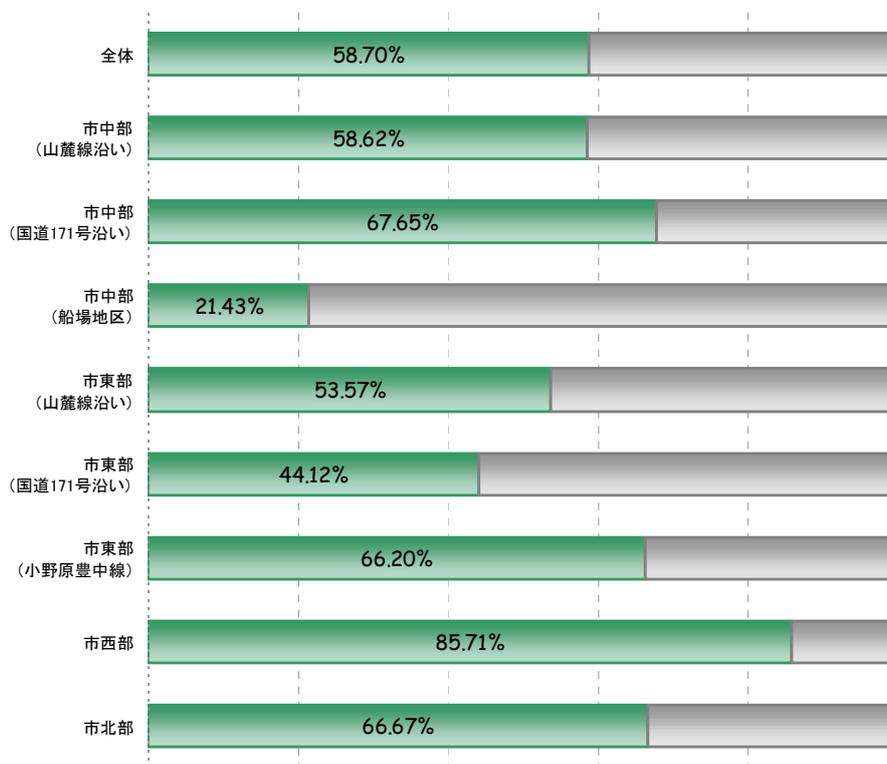


図 「増発・増便」への要望
(箕面市内の停留所を出発地とする回答者のみ)

「路線の新設・充実」を要望すると回答した人について、希望する行き先・方面を尋ねたところ、箕面方面（箕面駅・市役所）が過半数を占めており、市内の拠点となる地区へのローカル輸送の改善を要望しているものと考えられる。

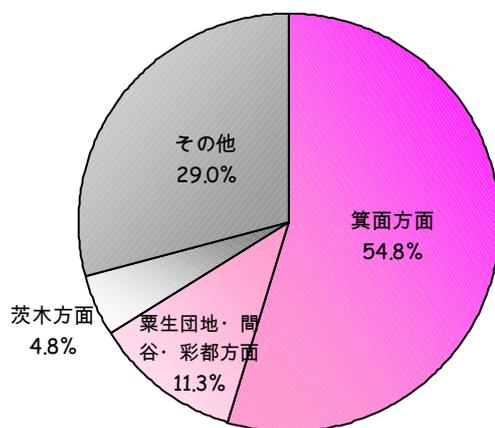


図 「路線の新設・充実」への要望 希望する行き先・方面
(箕面市内の停留所を出発地とする回答者のみ)

「運行時間帯の改善」にを要望すると回答した人について、改善を希望する時間帯を尋ねたところ、深夜の時間帯（22時以降）が38.5%で最も多い。

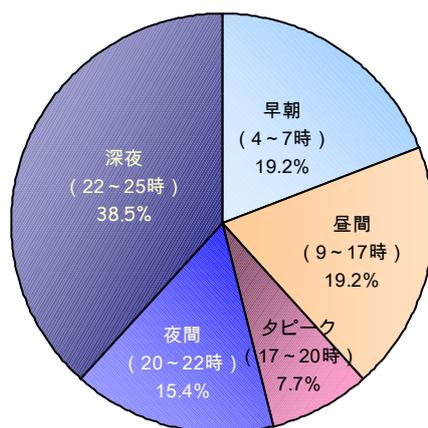
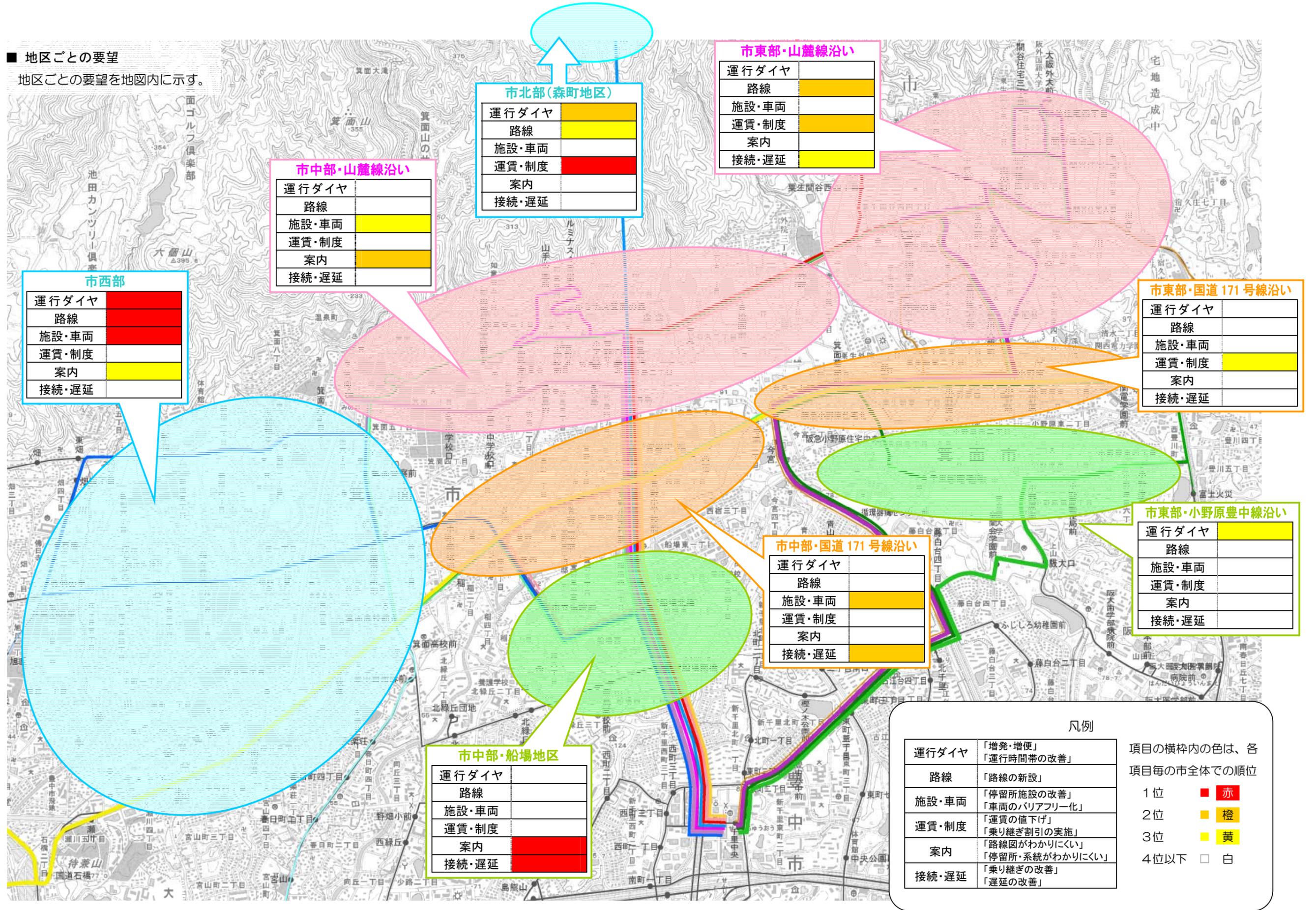


図 「運行時間帯の改善」への要望 希望する時間帯
(箕面市内の停留所を出発地とする回答者のみ)

■ 地区ごとの要望

地区ごとの要望を地図内に示す。



市西部

運行ダイヤ	赤
路線	赤
施設・車両	赤
運賃・制度	黄
案内	黄
接続・遅延	白

市北部(森町地区)

運行ダイヤ	黄
路線	黄
施設・車両	白
運賃・制度	赤
案内	白
接続・遅延	白

市中部・山麓線沿い

運行ダイヤ	白
路線	白
施設・車両	黄
運賃・制度	白
案内	黄
接続・遅延	白

市東部・山麓線沿い

運行ダイヤ	白
路線	黄
施設・車両	白
運賃・制度	黄
案内	白
接続・遅延	黄

市東部・国道171号線沿い

運行ダイヤ	白
路線	白
施設・車両	白
運賃・制度	黄
案内	白
接続・遅延	白

市東部・小野原豊中線沿い

運行ダイヤ	黄
路線	白
施設・車両	白
運賃・制度	白
案内	白
接続・遅延	白

市中部・国道171号線沿い

運行ダイヤ	白
路線	白
施設・車両	黄
運賃・制度	白
案内	白
接続・遅延	黄

市中部・船場地区

運行ダイヤ	白
路線	白
施設・車両	白
運賃・制度	白
案内	赤
接続・遅延	赤

凡例

運行ダイヤ	「増発・増便」 「運行時間帯の改善」
路線	「路線の新設」
施設・車両	「停留所施設の改善」 「車両のバリアフリー化」
運賃・制度	「運賃の値下げ」 「乗り継ぎ割引の実施」
案内	「路線図がわかりにくい」 「停留所・系統がわかりにくい」
接続・遅延	「乗り継ぎの改善」 「遅延の改善」

項目の横枠内の色は、各項目毎の市全体での順位

1位 赤

2位 橙

3位 黄

4位以下 白

① 市中部（山麓線沿い）

「増発・増便」以外の多数意見として、「停留所施設の改善」（31.0%）、「停留所や系統がわかりにくい」（25.9%）あるいは「路線の新設・充実」（24.1%）がある。

このうち、「停留所や系統がわかりにくい」との意見については、千里中央のバスターミナルにおいて乗車位置が分散していること（さらに異なる行き先（系統）のバスが混在している）等が原因として考えられる。また、「路線の新設・充実」との意見については、回答した人の 71.4%が箕面駅方面への路線を挙げており、現在運行されている箕面山麓線（36・37 系統）のバスサービスが低いことが原因として考えられる。

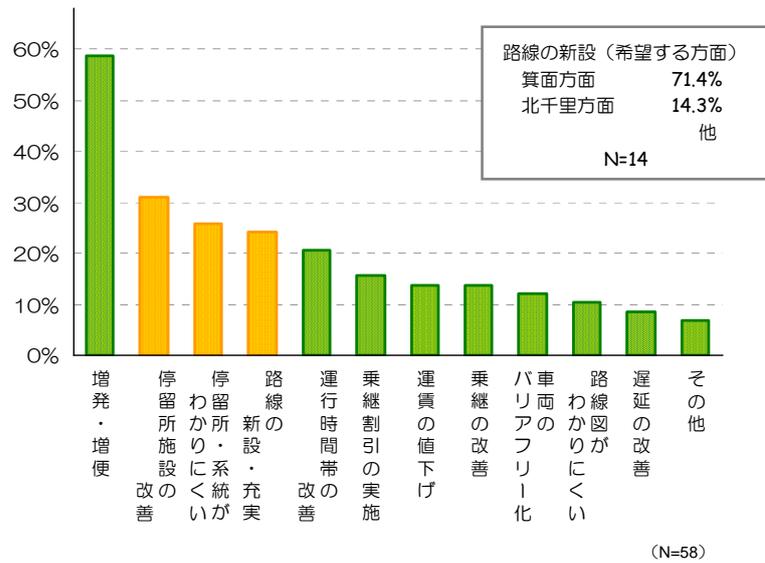
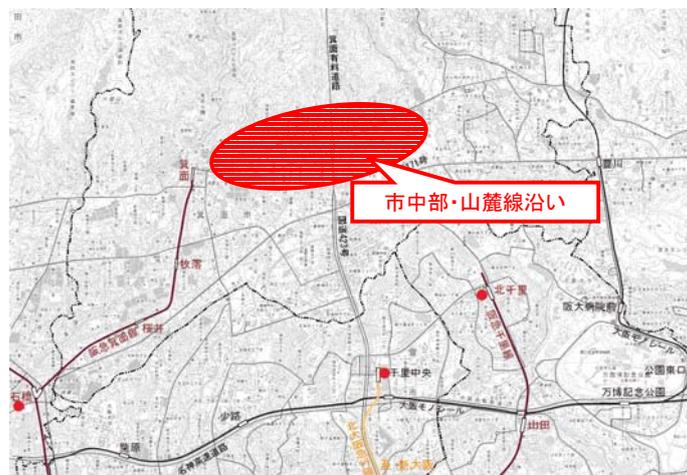


図 現状のバスに関する要望（市中部・山麓線沿い）



② 市中部（国道 171 号線沿い）

国道 423 号線を經由して千里中央を結ぶ路線が集中し、国道 171 号線を走行する石橋・郡山団地線（92 系統）も走行しているため、「停留所施設の改善」（41.2%）や「遅延の是正」（38.2%）といった意見が多い。

このうち、「遅延の改善」については、国道 171 号線の交通集中による渋滞が主な原因と考えられる。

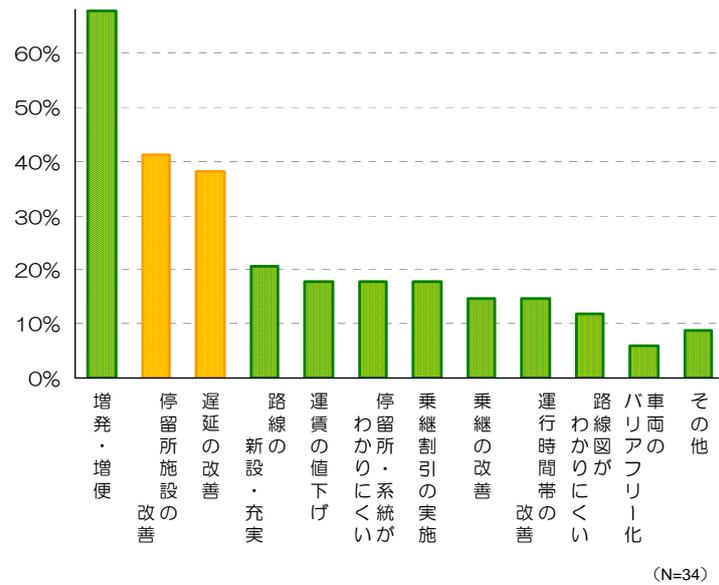
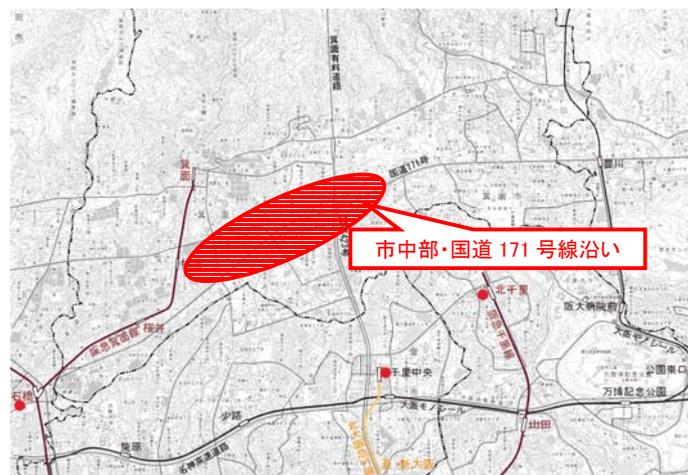


図 現状のバスに関する要望（市中部・国道 171 号線沿い）



③ 市中部（船場地区周辺）

国道423号線を經由して千里中央を結ぶ路線が集中して、バスのサービスレベルが非常に高いため、「増発・増便」や「路線の新設・充実」といった意見は少なく、バスの定時性に関係した「遅延の改善」に関する意見が42.9%とやや多い。

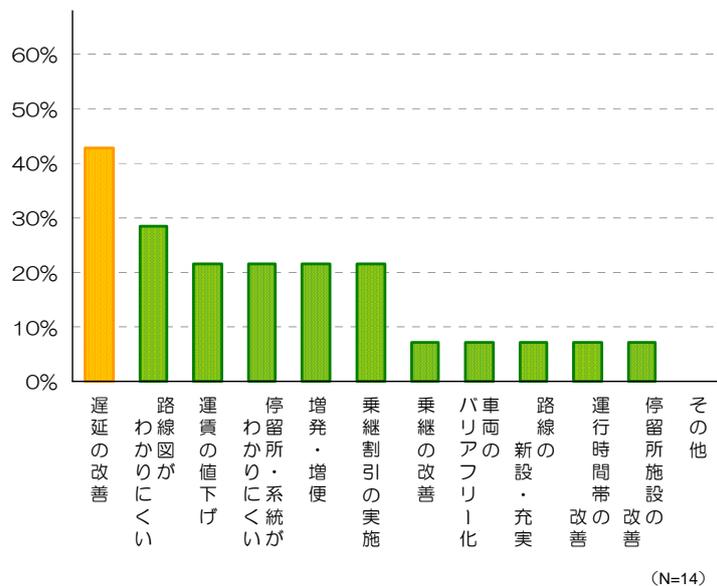


図 現状のバスに関する要望（市中部・船場地区周辺）



④ 市東部（山麓線沿い）

千里中央駅へのフィーダー型路線のみの停留所が多く、茨木、箕面、かやの中央、市立病院などへの移動に関しては、一部を除いて途中で乗り換える必要があると見られる。

このため、「料金の値下げ」（33.9%）、「乗継割引」（33.9%）あるいは「路線の新設」（28.6%）といったバスの乗り継ぎに伴う負担の軽減を求める意見が多いと考えられる。

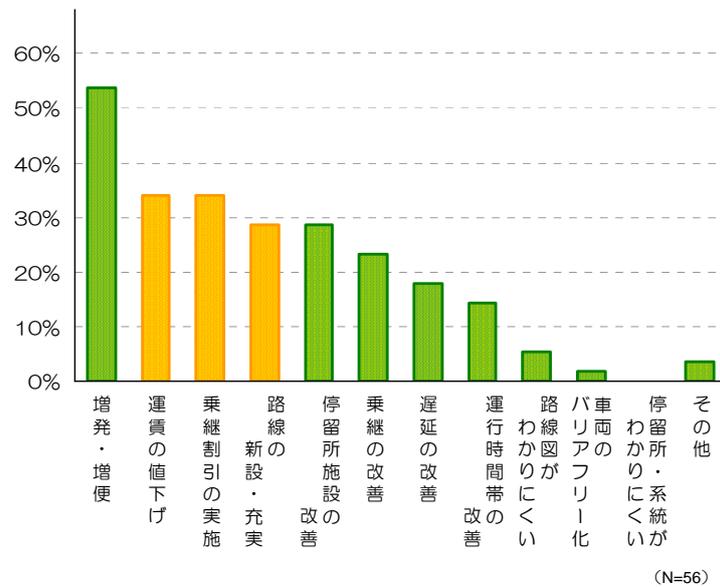


図 現状のバスに関する要望（市東部・山麓線沿い）



⑤ 市東部（国道 171 号線沿い）

千里中央・北千里の各駅や茨木・石橋方面の路線・本数が充実しているため、「増発・増便」への要望は他の地区に比べると低い割合であるが、「停留所施設の改善」（26.5%）、「乗継割引の実施」（23.5%）や「運行時間帯の改善」（23.5%）を挙げる意見が多い。

このうち、「乗継割引の実施」については、箕面駅方面のアクセスが不便な困難なために、途中での乗り換えに際しての負担軽減を求めていることが考えられる。

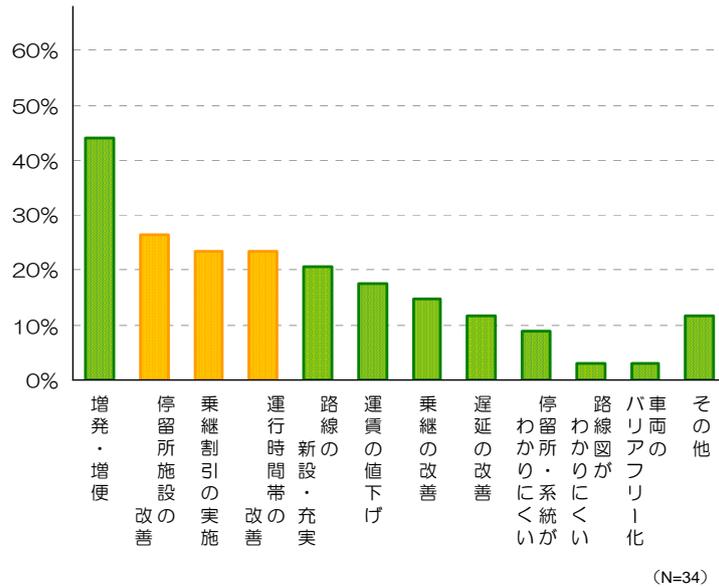


図 現状のバスに関する要望（市東部・国道 171 号線沿い）



⑥ 市東部（小野原豊中線沿い）

「増発・増便」以外の多数意見として、「停留所施設の改善」（25.4%）、「運賃の値下げ」（22.5%）がある。

このうち、「運賃の値下げ」については、千里中央方面以外へのバス利用に関しては、乗り換えが必要となり運賃の負担が大きくなることから、箕面方面や茨木方面へのバス利用に対するサービスの見直しまたは新たなサービスを求めている可能性も考えられる。

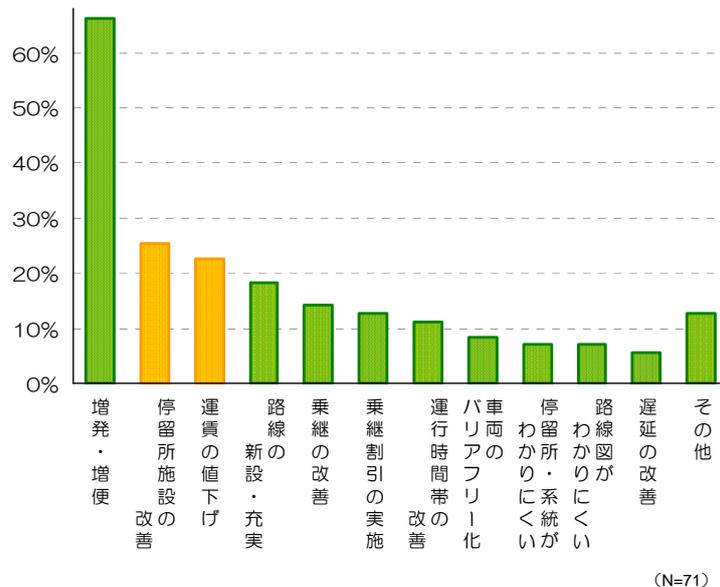


図 現状のバスに関する要望（市東部・小野原豊中線沿い）



⑦ 市西部

バス利用者のおよそ半数（85.7%）が「増発・増便」を要望している。また、「路線の新設・充実」（35.7%）や「停留所施設の充実」（35.7%）を挙げる意見も多い。

「増発・増便」の意見がこれほどまでに高い理由として、箕面中央線（81・82・83系統）のサービスレベル等が影響しているものと考えられる。

また、「路線の新設・充実」に関しては、かやの中央などへのアクセス路線が設定されていない地区が存在していること等が原因と考えられる。

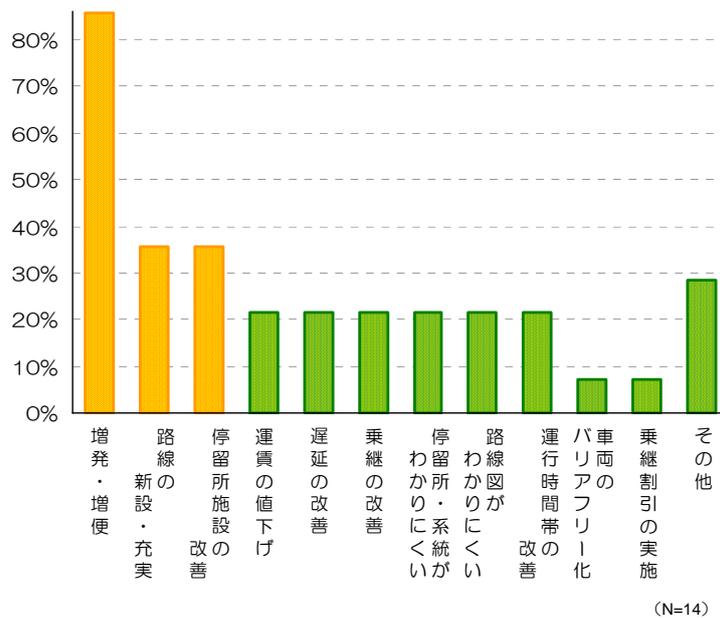
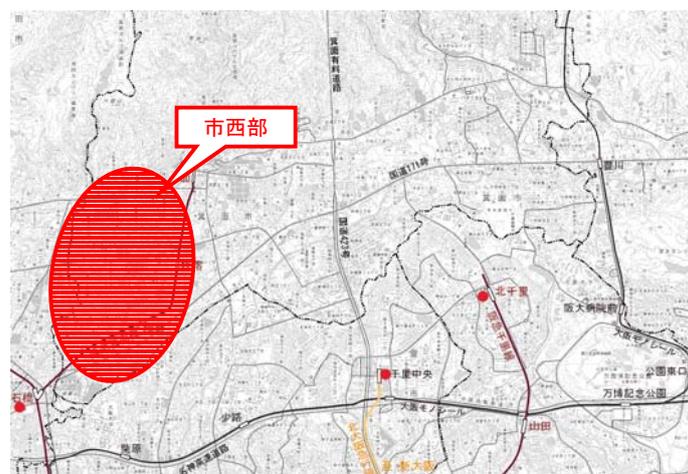


図 現状のバスに関する要望（市西部）



⑧ 市北部

「運賃の値下げ」(66.7%)と「増発・増便」(66.7%)を挙げる意見が多くなっているが、これは利用できる路線が限定されていて、箕面道路を経由するために料金が別体系(加算)となっているなど、地区の特性が影響しているものと考えられる。

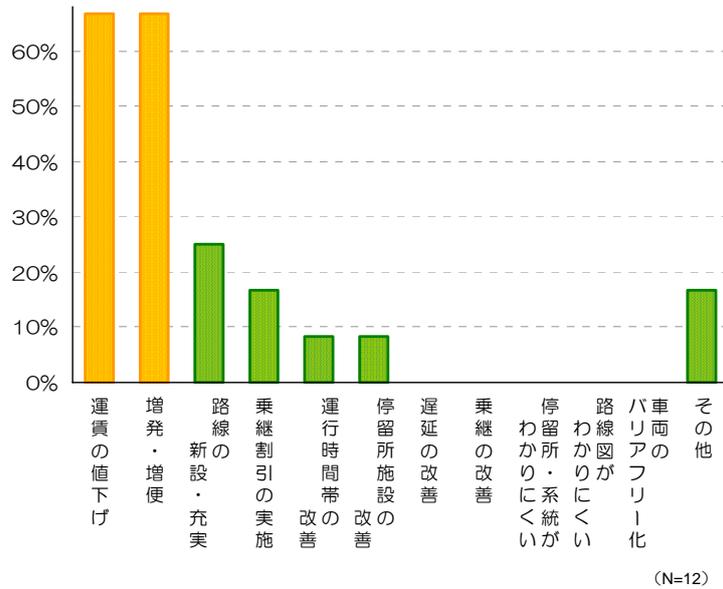
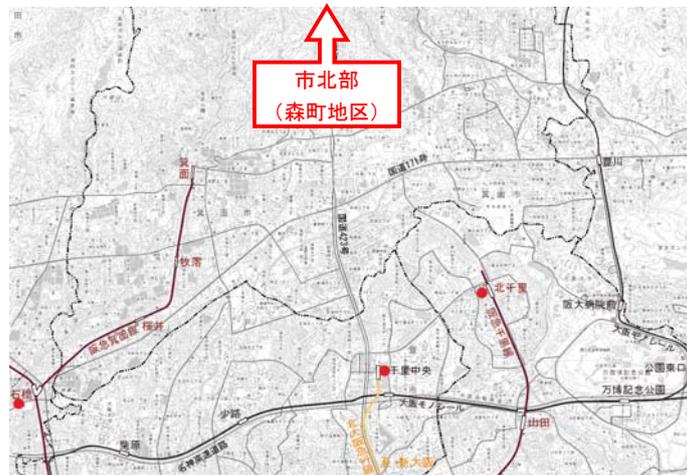


図 現状のバスに関する要望（市北部）



2) 市内を循環するバス路線に関する意識

箕面市内の停留所を出発地とする回答者のうち、「利用すると思う」と回答した人は67.6%で、回答者全体の3分の2を超えている。

このことから、市内のローカル輸送のバス路線に対して市民のニーズが高いと考えられる。

地区別に見ると、箕面市内各地へのアクセス路線が充実している船場地区を除いて、利用の意思が高い地域であり、現状において箕面市内の東西方向のバス路線が開設されていない小野原豊中線沿いやローカル輸送のバス本数が少ない山麓線沿い等においては、特にその割合が高い。

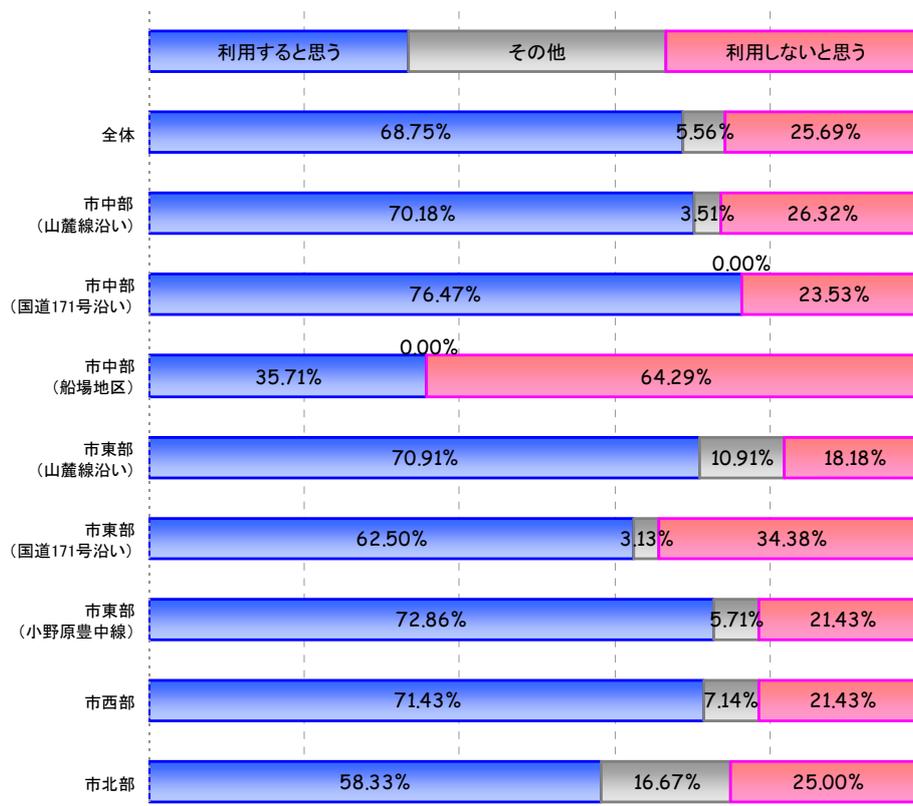


図 市内循環バスが開設された場合の利用意思
(箕面市内の停留所を出発地とする回答者のみ)

3) 自転車駐輪場の整備に関する意識

箕面市内の停留所を出発地とする回答者のうち、「利用すると思う」と回答した人は25.5%で、回答者全体の約4人に1人である。

地区別に見ると、市中部の国道171号線沿い、市東部の山麓線沿い、市西部、市北部では利用の意識が高い。一方で、市中部の山麓線沿いや船場地区では利用の意識が低い。

このことから、現状の地形（ならびにバス停勢圏）やバスサービス（路線・運行本数）等の条件により、自転車駐輪場の整備を実施した場合のバス利用促進の効果に影響するとみられる。

なお、利用の意識が高い地域を整備効果の高い地区と想定すると、箕面森町線（1系統）や石橋・郡山団地線（92系統）といった広域型のバス路線までのアクセスや、近隣店舗（商業施設）の利用を兼ねたアクセスが考えられる。

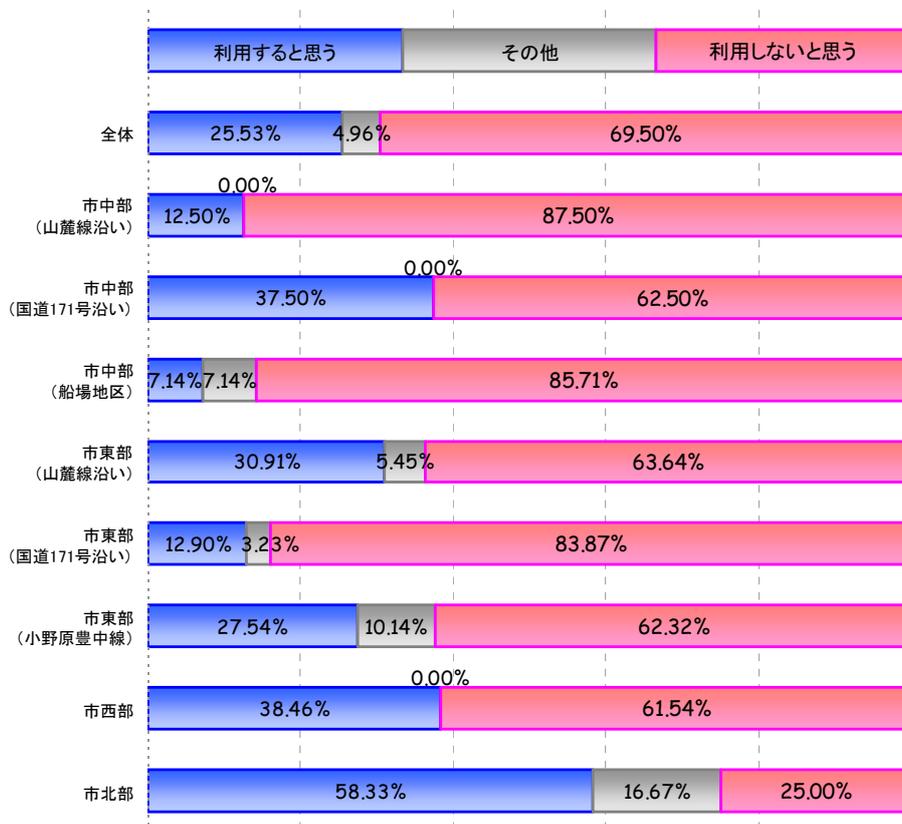


図 箕面市内の停留所に自転車駐輪場を設置した場合の利用の意思
(箕面市内の停留所を出発地とする回答者のみ)

1.4 非バス利用者の意識の把握

(1) 現状のバスサービスに対する要望

回答世帯全体では、バスの増発（増便）を望む意見が3割近く（29.9%）で最も多く、路線の新設や運賃の値下げ、乗り継ぎや路線図がわかりにくいといった意見が多い。

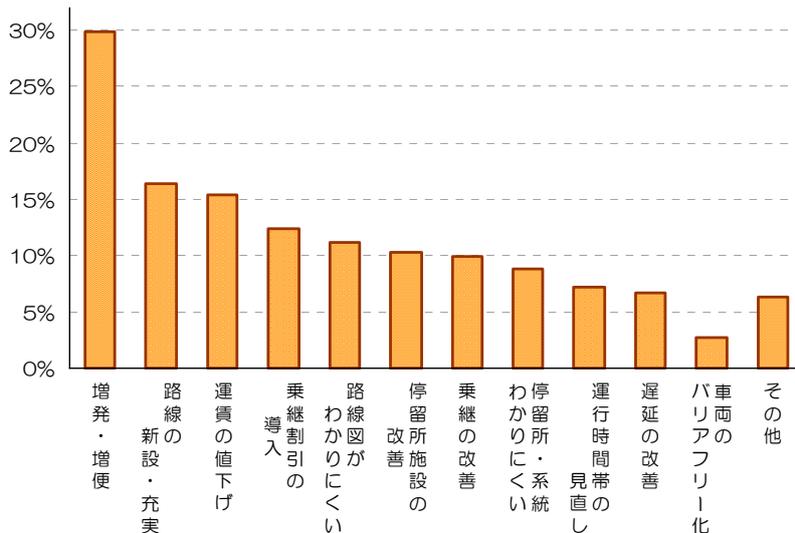
地区別に見ると、粟生団地では、バスの増発（増便）以外の代表的な意見として、運賃の値下げ（22.6%）、路線の新設（20.7%）、乗り継ぎ割引の実施（20.1%）が多い。このうち、路線の新設は、箕面方面と茨木方面を結ぶ路線を求める意見が多い。

現行の粟生団地のバス路線網は、千里中央へのフィーダー主体の路線となっている。また、要望の多い方面への移動については、バス同士の乗り継ぎが必要となることが多く、結果として運賃が割高になってしまう。このため、経路から外れる（もしくは運行サービスが低い）地域間の移動に対する改善を求めているものであると考えられる。路線の新設や運賃の値下げ、乗り継ぎ割引の実施に対する要望の割合が高いのは、こうしたことが原因のひとつであると考えられる。

桜ヶ丘では、路線図がわかりにくい（18.0%）、停留所や系統がわかりにくい（13.8%）、路線の新設（12.0%）が多い。

現行の桜ヶ丘地区のバス路線網は、近くに阪急箕面線が走っているために、路線や本数が限られたものとなっていることから、公共交通の主体が鉄道となっていることが考えられる。このため、目的地までバスで移動する場合に必要な情報を把握できていない人も少なくないものと考えられる。路線図や停留所・系統がわかりにくいという意見の割合が高いのは、こうしたことが原因のひとつであると考えられる。

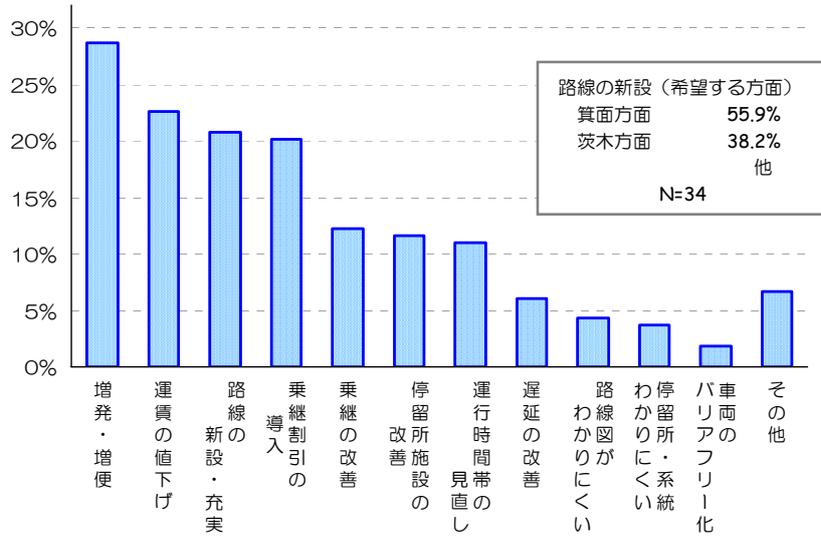
●全体



(N=331)

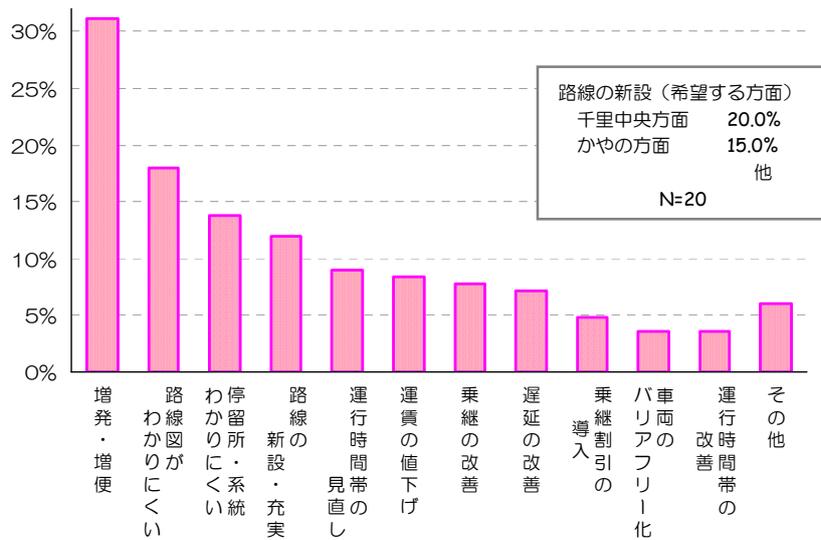
図 現状のバスサービスに対する要望（調査地区全体）

●粟生団地



(N=164)

●桜ヶ丘



(N=167)

図 現状のバスサービスに対する要望（粟生団地・桜ヶ丘）

非バス利用者の定義について

T F Pの事後調査における世帯全体の日常の交通行動について、
[自動車の利用回数]：[公共交通の利用回数]の割合が8：2より[自動車の利用回数]の割合が大きい
 上の条件に該当する世帯を「非バス利用者」の世帯と定義した。

なお、調査結果については、T F Pの事後調査の公共交通に関する意識の質問に対する回答結果を用いることとした。

(2) 市内循環バスに関する意識

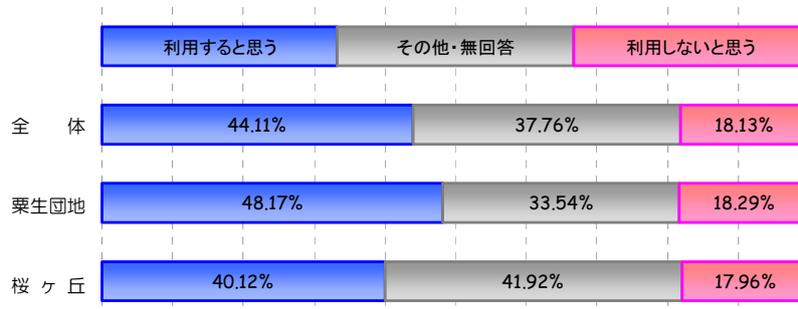
回答世帯全体では、「利用すると思う」と回答した世帯が4割以上（44.1%）であるが、TFPの調査地区全体やバス利用者調査の結果と比較すると、その割合が2割以上低くなった。

粟生団地や桜ヶ丘でも同様の傾向であった。

ただし、この中から自動車の利用を控える意識が高い世帯について分析してみると、TFPの調査地区全体やバス利用者調査の結果と同様に、「利用すると思う」と回答した世帯が7割近く（67.96%）と高くなった。

この結果から、バス路線（運行サービス）が整備（向上）すれば、箕面市内の拠点となりうる地区への移動に公共交通を利用する可能性があるかと期待される。

◆対象世帯全体



◆自動車利用を控える意識が高い世帯

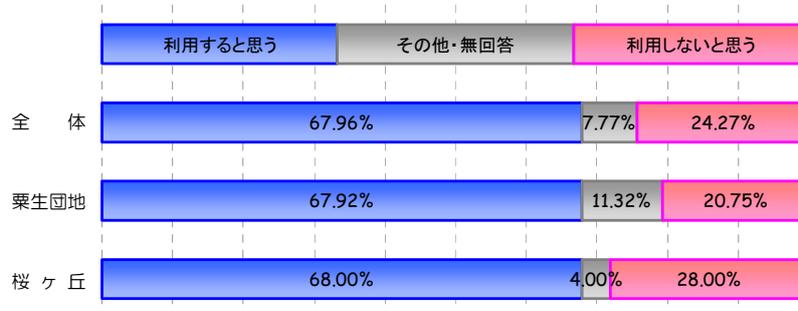


図 市内循環バスが開設された場合の利用意思

(3) 北急延伸における公共交通への転換の意思

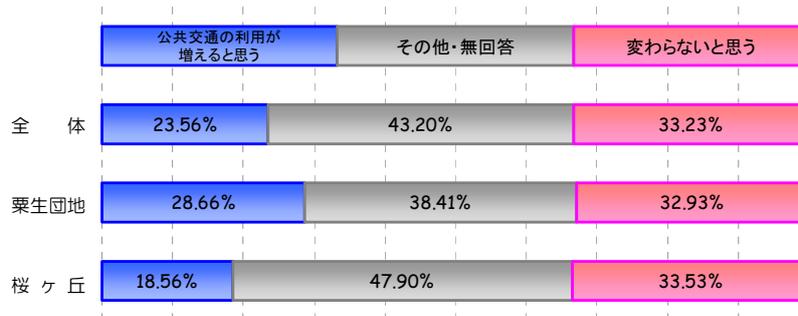
回答世帯全体では、自動車交通を減らして電車やバスなどの「公共交通の利用が増えると思う」と回答した世帯は4分の1程度（23.6%）で、「変わらないと思う」と回答した世帯はおよそ3分の1（33.2%）であった。

地区別に見ると、粟生団地では「公共交通の利用が増えると思う人」と回答した世帯が3割近く（28.7%）なのに対して、桜ヶ丘では2割以下（18.6%）であった。

ただし、この中から自動車の利用を控える意識が高い世帯について分析してみると、「公共交通の利用が増えると思う人」と回答した世帯がそれぞれ1割以上多くなった。

地域差が生じた原因としては、桜ヶ丘では既に徒歩等の移動で鉄道が利用できる環境にあるのに対して、粟生団地では鉄道駅から距離が離れているために、北大阪急行線が箕面市内に延伸されると公共交通の利用環境が飛躍的に向上すると期待している世帯が多いことが考えられる。また、鉄道の延伸によって公共交通の利用が増える可能性が大きくなると考えられる。

◆対象世帯全体



◆自動車利用を控える意識が高い世帯

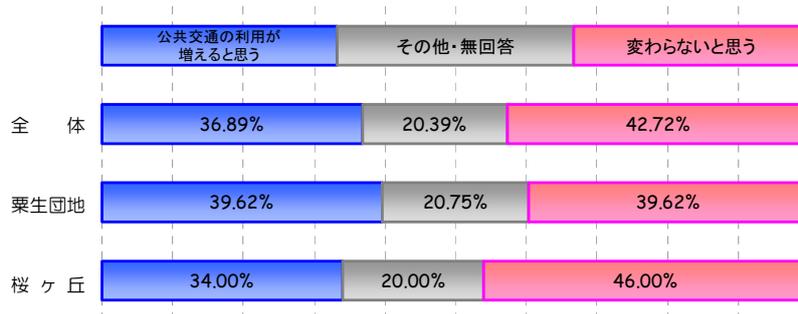


図 市内循環バスが開設された場合の利用意思

1.5 市民アンケート調査等

平成 18 年度に実施した「箕面市市民満足度アンケート調査」ならびに平成 19 年度に実施した「Mバス利用者へのアンケート調査」の結果に基づいて、箕面市の公共交通（主にバスに関するもの）に対する市民の意見を整理した。

- ・ 行き先等の認知度は、路線バスは高い（83%）が、Mバスは低い（39%）。
- ・ 利用状況は、路線バスは半数以上（55%）が利用するが、Mバスはあまり利用させていない（13%）。
- ・ 必要性は、路線バスは高い（79%）が、Mバスは低い（42%）
- ・ 現在のバス路線の路線バスの交通体系の主力となっていることから、行き先として駅へのアクセスに関する不満の割合は非常に低くなっている（4%）。
- ・ 不満に感じていることは、路線バス・Mバスともに運行時間や便数に関するものが最も多くなっている（路線バス：41%、Mバス：38%）。また、路線バスでは行き先（28%）が多い。Mバスでは情報等（22%）に関するものが多い。

● 現状のバス路線網について

全体の4割を超える人が現状のバス路線に対して不満に感じており、満足だと感じている人は1割ほどに留まっている。

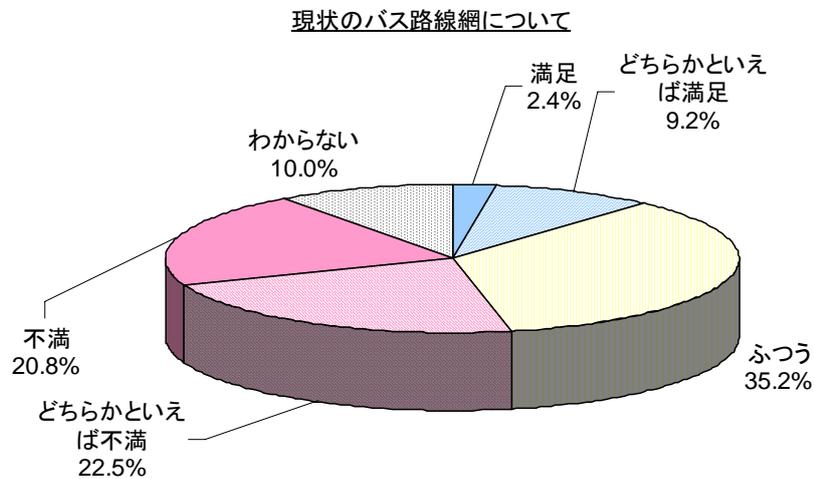


図 バス路線網についての満足度
(平成 18 年度 箕面市市民満足度アンケートより)

● 路線バスの利用状況と必要性

路線バスの利用状況は、半数以上の人を利用している。

また、路線バスの必要性については、全体の8割近くの人が必要だと考えている。

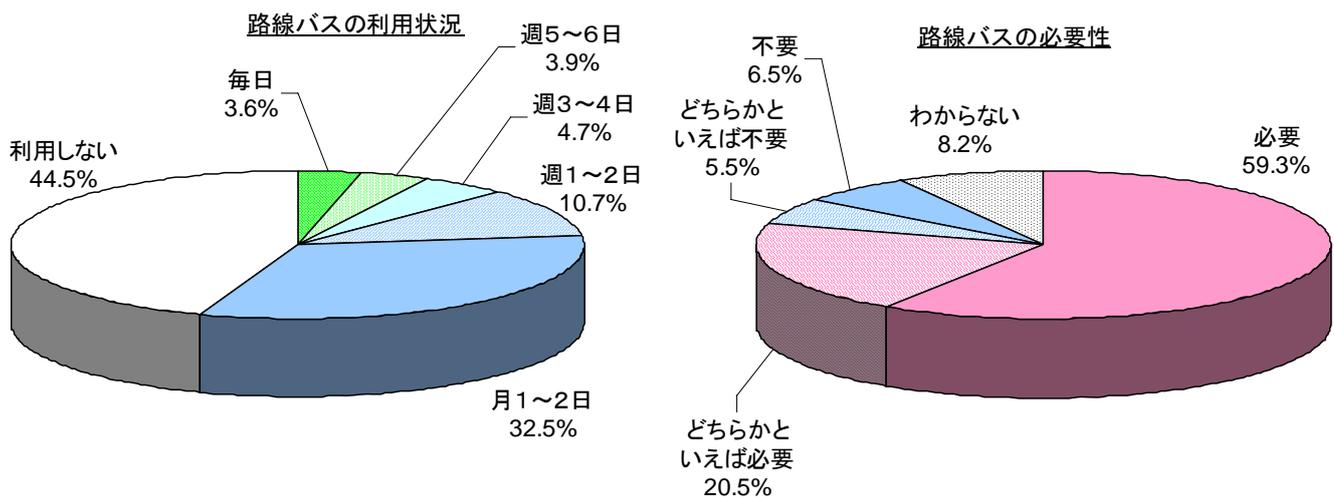


図 路線バスの利用状況と必要性
(平成 18 年度 箕面市市民満足度アンケートより)

● バス路線網整備の重要度

全体の約3分の2の人がバス路線網整備を求めており、現状の問題点を整理したうえで、よりよいバス路線網の構築が求められている。

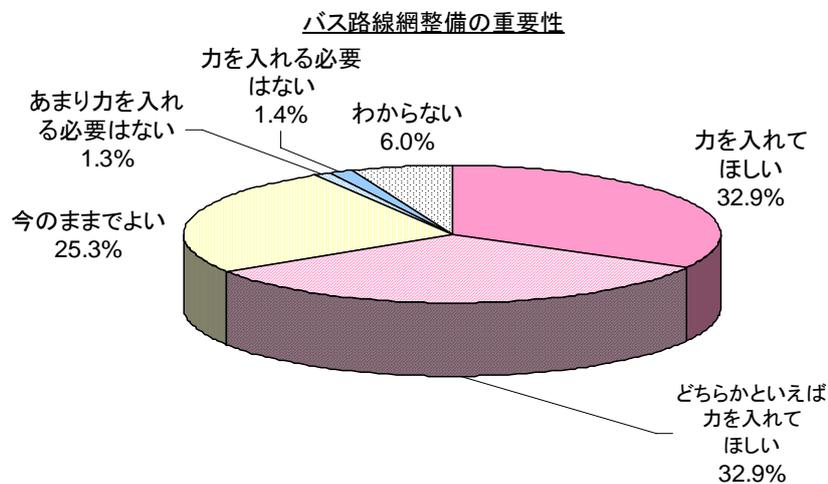


図 バス路線網整備に対する要望
(平成 18 年度 箕面市市民満足度アンケートより)

● 路線バスへの不満内容

運行時間・便数や行き先といった公共交通体系全般の運行サービスについての内容が多くなっている。現在の路線バスの交通体系の主力となっている駅へのアクセス（鉄道フィーダー）輸送に関する不満の割合は低くなっている。

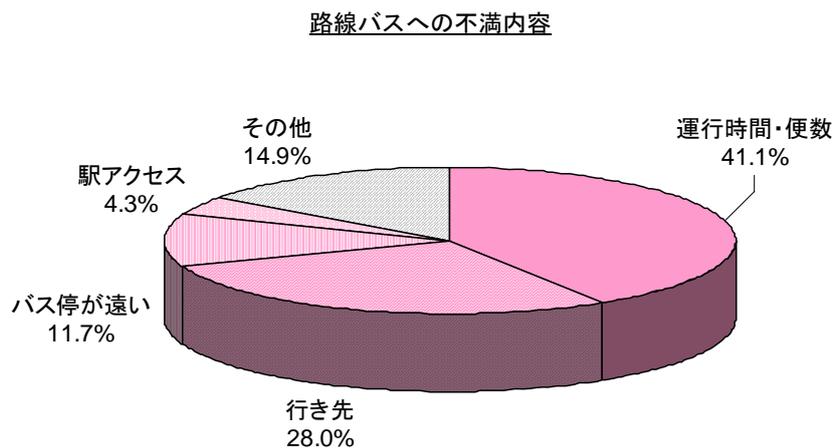


図 路線バスに対する不満
(平成 18 年度 箕面市市民満足度アンケートより)

● 市民の意見

フィーダー型のバス路線については、市内東北部（外院・粟生・間谷地区）や市内東南部（小野原地区）、そして中部（国道 423 号沿線）では、終日にわたって比較的サービスレベルが高くなっているが、その他の地区では、時間帯によりサービスレベルに差が生じている。

自由乗降可能な場合に行きたいところ

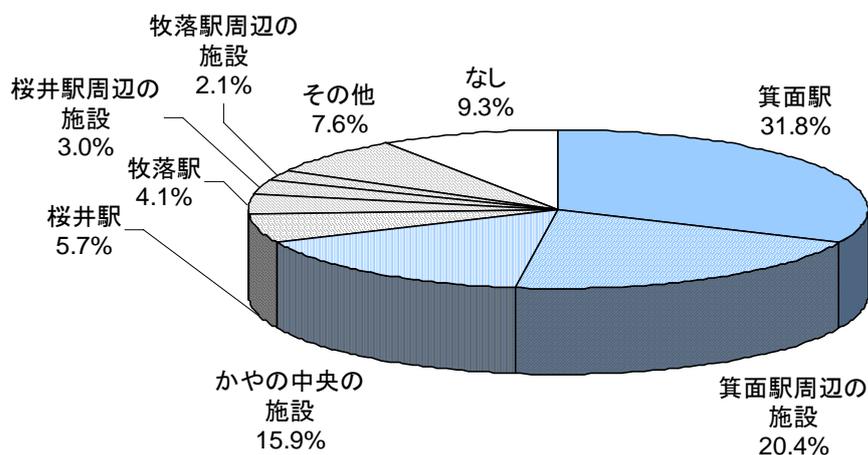


図 Mバスを利用して行きたいところ
(平成 19 年度 Mバス利用者アンケート調査より)

Mバスの自由乗降が可能な場合に、行きたいところを尋ねたところ、箕面駅、箕面駅周辺の施設、かやの中央の施設が上位3カ所（地区）が全体の3分の2近くを占めている。（図）一方で、こうした場所への公共交通サービスの状況は以下のとおりである。

表 箕面市内の主要場所への公共交通サービスの現状

出発地 \ 目的地	箕面駅	箕面駅周辺の施設	かやの中央の施設
西北部 (桜・桜ヶ丘・新稲地区)	△	△	×
西南部 (国道 171 号線沿線)	×	×	○
北部 (止々呂美・森町地区)	×	×	△
中部 (国道 423 号線沿線)	○	○	○
東北部 (外院・粟生・間谷地区)	△	△	△
東南部 (小野原地区)	×	×	△

1.6 まとめ(課題抽出)

これまでの各アンケート調査の結果を踏まえると、バス利用促進方策の検討に際しては、以下に挙げるような課題が挙げられる。

課題1 運行のサービスレベルの引き上げ

調査地区、日常におけるバス利用の有無に関わらず、最も多い要望が運行のサービスレベルの引き上げ(増便(増発)、運行時間帯の見直し)である。特に、現行のバスサービスにおいて運行のサービスレベルが比較的低い市の西部と北部で意見が多い。

また、運行のサービスレベルが高い地区では、運賃の値下げや乗り継ぎ割引の充実や箕面(もしくは茨木方面)への路線の整備を求める意見が多く、さらなるバスの利便性を要望する意見が多いことから、運行のサービスレベルの改善が期待される。

課題2 バスサービスの地域差の解消

バスサービスが低い地域ではサービスレベルの引き上げを求める意見が多く見受けられる。また、フィーダー型のバスサービスが充実している地区でも、ローカルのバスサービスが不足しているために改善を求める要望が多い。

箕面市内のバス路線は、千里中央駅への鉄道フィーダー輸送が主力となっていて、概ね高いサービスレベルにあるが、一部の地域や箕面市内のローカル輸送ではバスサービスが不足しているなど、箕面市内のバスサービスには地域差が認められることから、これを解消するためのバスサービスの改善が期待される。

課題3 箕面市内のローカル輸送の改善

調査地区、日常におけるバス利用の有無に関わらず、箕面市内の拠点(箕面駅周辺等)を結ぶ路線の整備(もしくはサービスレベルの引き上げ)を期待しており、整備された場合には、多くの市民が「利用すると思う」と回答(バス利用者:67.6%、非バス利用者:44.1%(自動車利用を控える意識が高い世帯では68.0%))しており、公共交通の利用促進のためにも市内循環型ネットワークの改善が期待される。

課題4 停留所設備のさらなる整備・改善

バス利用者の意見で「増発(増便)」の次に全市域で多いものに、停留所の設備(ベンチ、上屋)の整備・改善への要望があることから、さらなる整備・改善が期待される。

また、バス停までのアクセス改善・利便性向上のための自転車駐輪場の整備については、広域型のバス路線が走行する国道171号線の沿線や、最寄駅からの距離が離れている地区で整備された場合に「利用すると思う」と回答する意見が多いことから、整備に向けた検討が期待される。

課題5 公共交通の利用促進に向けた積極的な情報の提供

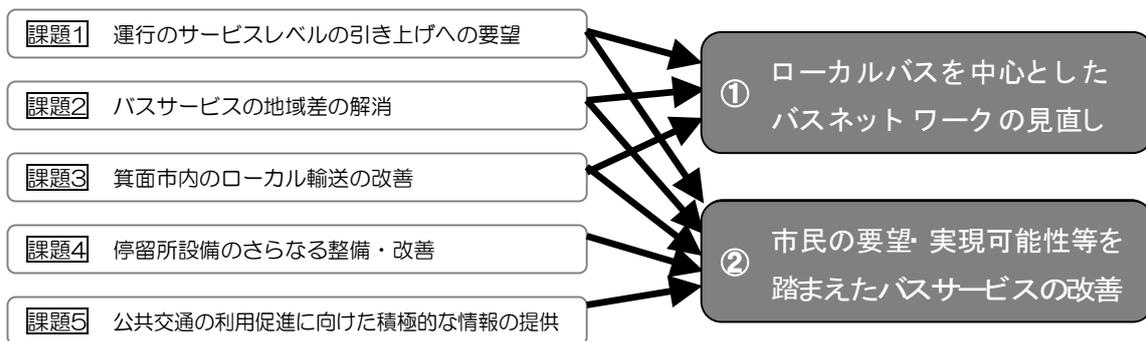
非バス利用者の中には、「路線図がわかりにくい」、「バス停、系統がわかりにくい」といった意見が比較的多く、自動車利用を控える意識が高いながらも路線バスを利用していない状況が考えられる。

こうした人たちが今後、自動車利用からバス等の公共交通利用へ転換する可能性があると考えられることから、現在の公共交通への課題に対応しながら、同時に公共交通に関する情報やサービス内容をきめ細かく提供していくことが期待される。

2. バス利用促進方策について

これまで、箕面市内の公共交通（主にバス）について各アンケートの結果から市民の意識や要望について分析したが、運行に関するもの、設備に関するもの、制度に関するもの、利用環境に関するもの等多くの内容があるため、全てについて実現していくのは困難である。

そこで、前頁で整理した5つの課題について、バス利用方策を検討する上でこれらを整理すれば、①ローカル輸送を中心としたバスネットワークの見直しと②市民の要望・実現可能性を踏まえたバスサービスの改善に集約されると考えられる。



①ローカル輸送を中心としたバスネットワークの見直しについては、以下のものが挙げられる。

- 公共施設巡回福祉バス（Mバス）の路線バスとの連携または一体化に向けた計画
- 小野原豊中線の供用開始に伴う新たなバス路線計画

ローカルバスについては、箕面市内の地域間移動における重要な公共交通機関であるが、現状では路線が整備されていない地区があり、バスサービスも十分とはいえない状況であるので、2008（平成20）年12月に取りまとめられた「市内バス路線網の整備に関する研究成果報告書」も活用しながら、公共施設巡回福祉バス（Mバス）と路線バスとの連携または一体化を前進させることが必要である。

また、小野原豊中線の供用開始に伴って新たな計画される路線は東西バスネットワークの一端となりうると期待されるので、バスネットワークの見直しの一環として関係者との間で調整を図る必要がある。

②市民の要望・実現可能性を踏まえたバスサービスの改善については、現状のフィーダー主体のバスサービスにおいて、さらなる改善が可能と考えられる内容を中心に実施可能なバスサービスについては、行政とバス事業者が連携して検討・調整を図る必要がある。

バス利用促進の検討結果を踏まえ、今後箕面市が取り組むべき公共交通利用活性化に関するプログラムは以下のとおりである。

表 バス利用促進方策

方策		取組内容		取組にあたっての関係者
① バスネットワーク輸送を中心とした見直し	公共施設福祉巡回バス(Mバス)と路線バスとの連携計画	課題1 課題2 課題3	「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく制度を活用して、箕面市、国、府、バス事業者、市民を含めた関係者で組織する法定協議会を設置し、「地域公共交通総合連携計画」を策定し、実証実験を目指す。(2009(平成21)年度～)	箕面市 国 大阪府 事業者 (阪急バス) 市民
	小野原豊中線の供用開始に伴う新たな路線	課題2	東西バスネットワークの一つとして、本路線への路線バスの検討を箕面市、阪急バスが中心となり進める。	箕面市 事業者 (阪急バス)
② 市民の要望・実現可能性を踏まえたバスサービスの改善	夜間時間帯における運行便数の増便	課題1	利用者の要望が多い夜間時間帯以降の運行サービスの向上について検討を行う。 ※ 深夜時間帯については、小野原東線で深夜便の運行がなされている。	事業者 (阪急バス)
	地区によるバスサービスレベルの差の改善(路線の改善・新設や増便等)	課題1 課題2	ローカル路線については、Mバスと路線バスとの連携または一体化によって市内全域でのローカルバスの利用環境整備を進める。 フィーダー路線については新たな道路の供用開始に合わせた新規路線の整備等を見極めながら、現行路線の経路の変更・系統の振替、もしくは増便等を検討する。	箕面市 事業者 (阪急バス)
	乗り継ぎにおける運賃割引	課題1	利用者から要望の多い路線バス同士を乗り継いだ場合の料金体系・制度を検討する。 ※ ソーン定期券、1日乗車券、各種乗り継ぎ制度(通し運賃の適用、割引運賃)	箕面市 事業者 (阪急バス)
	主要なバス停における上屋・ベンチの整備	課題4	道路状況や利用者数等を勘案しながら、停留所への整備を進める。	箕面市 国 大阪府 事業者 (阪急バス)
	バス路線や時刻表等の情報提供を行うマップ等の作成	課題5	バスの利用に有用な情報を盛り込んで、気軽に便利にバスが利用できるように地区毎に編集して、家庭や職場等で活用してもらえるようにする。(モビリティ・マネジメントで実施) また、市域全体をカバーするわかりやすいバス路線網図(路線バス、Mバス)を作成して市民に配布するとともに、箕面市ホームページにもバスマップを掲載し、バス事業者のホームページとのリンクにより、バス停ごとの時刻表等の情報提供を行う。(2009(平成21)年度～)	箕面市 事業者 (阪急バス・阪急電鉄) 市民

※は近隣の市等で実施されている内容